

広島市 ^{かたやま} 片山氏所蔵文書 仮目録
(請求記号 200404)

平成 19 年(2007)7 月

広島県立文書館

凡 例

- 1 本目録には、広島市 片山氏所蔵文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(200404)と、この項目の記号
を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 200404/1

表 題 資料に原表題のあるものはそのまま採り、内容等で
補記すべきものがあれば()で補った。

年 代 資料表題に記された作成年月日採った。

作 成 資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

【文書群概要】

広島市 ^{かたやま} 片山氏所蔵文書 (請求記号 200404)

出 所 片山氏

出所地名 安芸国高宮郡鈴張村 / 広島県安佐郡鈴張村 / 広島市安佐北区 [現在地名]

分 量 4 点

収蔵までの経緯 平成16年(2004)8月, 所蔵者より寄託。

年 代 天文11年(1542)~江戸中期

歴 史 片山家はもと安佐郡鈴張村の居住。同じく鈴張村の庄屋を勤めた旧家横山家から分家して片山姓を名乗る。

内 容 文書は,(1)天文11年の大内義隆下文1点,(2)澳下張り文書ほかの近世文書3点の合計4点。(1)の大内義隆下文は,広島県史古代中世資料編IV(p.154)に「横山林左衛門氏旧蔵文書」として掲載されている東大影写本の原本にあたる。これまで,原本の所在が不明だった。この文書は,片山家の本家であった横山家に伝来したもので,戦後間もない頃,片山家が譲り受けた。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」。

(2004.10.4 記述 / 長沢 洋)

(2009.10.15 訂正 / 長沢 洋)

【目録】

番号	表 題	年 代	作 成	形態・数量
1	大内義隆下文(安芸国安北郡鈴張のうち23石余宛行) 別に包紙あり。『広島県史 古代中世資料編 IV』154頁に「横山林左衛門氏旧蔵文書」として,東大史料編纂所影写本より翻刻されている。	天文 11.11.12	大内義隆 横山右馬助真高	竪紙・1通
2	高宮郡鈴張村庄屋手鑑(巡見使通行につき) 包紙あり。			折本・1冊
3	下張文書(宗門改帖断簡)	(元禄 9. 9.)		重折・1折(3枚)
4	断簡			断簡・1束(6点)